

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		第1回 川西市中学校給食検討会議	
事務局(担当課)		教育振興部 学校教育室 学務課	
開催日時		平成25年8月19日(月) 午後2時00分～午後3時15分	
開催場所		市役所4階 庁議室	
出席者	委員	濱田啓一、藤原政嘉、山上威、 柏直行、田口進、田中淑子、吉田修司、 芝原久美子、中井成郷、中西真紀	
	その他		
	事務局	泉教育振興部長、森下総務調整室長、上中学校教育室長、 中西学務課長、上原学務課長補佐、大坪学務課副主幹、 馬場学務課主任	
傍聴の可否	可	傍聴者数	11人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	議事 (1) 中学校給食に関する現状 (2) 児童生徒、保護者のニーズ把握について (3) その他		
会議結果	審議経過のとおり		

審 議 経 過

部長 事務局	<p><u>開会</u> 挨拶 委員紹介、事務局紹介、開催趣旨説明 事務局より、座長を藤原委員に依頼。</p>
座長	<p>挨拶 ご紹介いただきまして、ご指名いただきました藤原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。私は食育の会議の進行係もしております、その関係で今回もご指名をいただきました。特に近年食育という非常に大事な局面があるということは先ほど事務局からお話しがあったとおりでございます。特に育ちざかりの中学生の子どもにとってバランスのいい栄養素の確保というのは何にも増して大事な要素を持っているんじゃないかと思えます。それをどういうふう to 実施していくか、というふうなことにつきまして、いろいろな皆さんのご意見をいただくということになるかと思うんですけれども、生徒の満足、あるいは、また現場の先生方の負担、家族への負担、等々を考えた場合にどういうふうな給食がいいのかというようなことが、はたと悩むことになるかなと思うんですけれども、皆様の活発な意見が出てきたらなというふうに思えます。ただ先ほど説明がありましたように、ここで取り決めるということではなくて、いろんな意見を出していただきまして、それをなんとか川西市に取り上げていただくというふうなことに持っていきたいなと思えます。なにぶん不慣れなところがあるかと思えますが、どうぞ活発なご意見いただければありがたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
座長	<p><u>議事</u> それでは、ただ今から進めたいと思えます。 会議内容進行に沿いまして、1番の中学校給食に関する現状につきまして事務局からご説明をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>～説明～ 資料4(学校給食法、施行規則、実施基準、実施方式について、これまでの経緯)</p>
座長	<p>ありがとうございました。ただ今、関連法令の説明、学校給食の基準、あるいは学校給食の方法、川西市の経緯についてご説明いただきました。 これにつきまして語句の説明やわかりにくいところも含めて、ご意見いただきたいと思えます。いきなり意見を出すのもなかなか難しいと思えますので、まず、自分は今までこういうふう to 中学校給食を思っているんだとか、その様な意見から述べていただいても結構かなと思うんですけれども、どなたかご意見ありませんか。</p>
委員	<p>自身は中学校時代、給食ではなかったのですが、実際に給食があったらありがたいなと思ったこととしては、みんなと一緒に食事をする機会が増えるというのがあります。小学校が給食で中学校で給食がなくなったというのもあるかもしれません。中学生になると個人の活動に昼の時間を費やすことが多くなったと思うので、そのへんの時間をきっちり取れるのであれば、給食はあった方がいいと思えます。</p>
座長	<p>ありがとうございます。特にいろんな個人の状況があるということで、あったらいいのに、なかったら困るしというような非常に、難しい課題かなと思えます。</p>
委員	<p>どう進めていいのかが非常に難しい。旗振ってやれという大阪市みたいに進むんだろうけど、どこま</p>

	<p>で旗を振るつもりなのか、お聞かせいただきたい。予算があるのか、または後から予算を取るといふふうにおっしゃられて、予算を気にせずやっってくださいというその辺のことから先に聞きたい。私たちががんばってやりましょうというふうに旗を振ったとしても、結局予算がつかなければできない問題。</p>
事務局	<p>今回検討会議の方でお願いしたいのは、先ほど申しましたように広く意見を聞かせていただきたいということでございまして、具体的に大きく2点考えております。</p> <p>1点目が現在の家庭から持ってきてもらっているお弁当、また一方の学校給食、それぞれのメリット・デメリットというのを確認したいと思っております。2点目が給食を実施するとなった場合に実施方法について、例えば保護者の方で小学校と同じ方法であればお弁当よりも給食の方がいいという方もいらっしゃるでしょうし、例えば民間業者からのデリバリーであれば今のお弁当の方がいいという意見も聞いておりますので、実施方法について広く意見をいただきたいと思っています。</p> <p>ご指摘いただきました予算的なことについては、今回いろんな意見をいただいた中で、まず他の教育的な課題、例えば空調の整備ですとかそういったあたりと優先順位をどうしていくのか、もちろん予算が伴ってきますので、市長部局と調整しながら、考えていきたいと思っております。</p>
座長 委員	<p>まずやる方向で考えてということによろしいでしょうか。</p> <p>他市でも、中学校給食はだいぶ進んできています。いろいろなメリット・デメリットがあっているいろいろな方法もあるが、できれば今、小学校でしている自校方式という形が保護者、子どもに受け入れられていると思っています。できるなら同じ方法でやりたいなと思っています。</p>
座長 委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>保護者の中ではいつしてくれるのかという声が多いのが現状です。その中で、今年度PTA連合会の厚生給食委員会の中でもアンケートを取らせていただきました。事務局にアンケート結果をお渡ししましたが、このアンケートの対象者は25名ですけど、その中では中学校給食賛成が99%。一人だけ小学校の低学年の保護者の方で学校給食をするにあたっての経費を、別の教育の方に回してもらってもいいのではないかという意見がありました。弁当のメリット・デメリットですが、まず安全性。毎日それぞれの家庭で、保冷剤をつけたり傷みにくいような調理をして持たせているが、やっぱり心配。教室には空調設備ありませんし、一体何度の中で保管されているかという心配。やっぱり出来立てのあったかいものが食べれるというメリットがある。あとは荷物が減る。中学生になりますとそれぞれの子どもの食べる量が違う、男子と女子とか、その部分の検討もしたんですけども、おかずをいただいてご飯は家から持って行くとか結構具体的な案をいただいているので、小学校も中学校も義務教育というところでは、中学校も給食にしていいただきたいというところがあります。</p>
座長 委員	<p>ありがとうございます。実施について99%の賛成があったということですが、その時にどんな方法がアンケートの中で一番多かったでしょう。</p> <p>もちろん一番自校式が良いですけど、予算の面でかなり莫大なお金がかかるというのは、みなさんご存じのようで、出てましたのが、センター方式。近隣小学校よりの配送。ここに例に挙げられているすべてですけど、近隣小学校で中学校ブロックなりの小学校で中学校の分も作ってもらうのが一番コストもかからないかなという意見がありました。</p>
座長 委員	<p>要するに親子方式ですね。ありがとうございます。</p> <p>自校方式、もしくは親子方式で、可能な学校と可能でない学校があると思いますけど、そのあたりご説明お願いします。</p>

事務局	<p>今、中学校につきましては市内で7校ございます。一方小学校の方が16校。養護学校が1校ございます。指摘していただきましたように、学校によりましては調理室の設置が非常に難しい学校も確かにございます。そのあたりは、2回目の会議以降に詳しい資料をお示しさせていただきたいと思っています。</p>
座長 委員	<p>よろしいですか。2回目以降ということをお願いします。</p> <p>個人的には中学校の時はほかの地域にありました。もう46年前なんですけど給食でした。ただ何かをしようとすると予算のほかにアレルギー対応や給食費の未納の問題もございますので、その後考えると、さあ出来た、その後どうしていくんだという問題はやはり大事ではないかなと感じています。</p>
座長 委員	<p>10年ぐらい前に、家庭ではお弁当を作ってあげるのが、家庭の味やとか、随分市教委の方からお話を聞いたりして納得する部分もあったんですけども、でもこれから先は、納得できない面もでてくるのではないかなと思います。中学校でも給食が実施できたら、どんなに楽というのもおかしいですけど、そんなことを考えると、これからいろんな問題はありますけれども、ここで広く意見をだして検討を行い、方針が具体的に出たら教育委員会と地域と学校で協力させていただきたいなと思います。</p>
座長 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>小学校教育のなかで、給食が与える影響というんですか、効果はすごく大きいと思っています。本当に最近食育、子供たちが生きていく力、生きる力ということについては給食の在り方というのは大きいなと感じています。</p> <p>小学生は給食の時間はすごく楽しい時間のひとつですし、給食を通していろんなことを学べると思っております。19年度のアンケート調査結果の感想ですけど、児童生徒の意見が33%ですかね、もし小学生と中学生のそれぞれのアンケート結果の人数、割合がわかれば教えていただきたいと思っています。</p>
事務局	<p>小学生につきましては「実施して欲しい」が31.4%、中学生が36%、平均しますと33.5%です。小学生と中学生ではそんなに差があるということではないと思います。</p>
座長 委員	<p>今の話が今後ひっかかってくる問題になるのではと思うんです。お母さんお父さんは給食をして欲しいと。ところが、子供は嫌やと。というふうな事で、そのへんのギャップをどのようにこれから払拭していくかというような事も、やはり大事な要点になるのではないかと思います。</p>
委員	<p>過去に、PTA連合会でも20年度ぐらいのアンケートに関わってたと思いますが、その時に、子どもはお母さんの弁当を望んでいるよと。今、給食実施を決めても、実施は先になるでしょうと。そのために、多額な税金を我々が払う必要がありますかという論調で、やめときましょう、とりあえず検討にしましょうという結論に持って行ったという時期がありました。で、子どもは、お母さんの弁当に好き嫌いのことで、自分の好きなものばかりお母さんに頼んで入れてもらおうという傾向がありますので、やっぱりある程度は30数%は給食にしてほしいのが、それぐらいに落ち着いていると思うんです。でも、これからはこのままほっておくと、先ほど冒頭にもありましたけれど、食の乱れて非常にあります。中学生、高校生、大学生まで、ずっと今乱れていってると思うんですけど、それをどこかで、干渉してやっぱりあげないとダメやと思うんです。食育基本法のこともありますが、そういった観点から、食育を中学校で実施をするということをぜひお願いをしたいと思っています。当然その根底には、親とか保護者は、お弁当を作るのが大変だという思いはあります。その裏返しとして、給食を実施して欲しい。中学校給食を実施して欲しいという気持ちはありますが、このま</p>

	<p>まほっとくと非常に子供たちの将来具合悪いと思うんですね。給食は食べるだけじゃなくて、人についてあげるだとか、そういう行為が給食には発生すると思うんですよ。その行為っていうのは、やっぱり人に対するやさしさの根源だと思うんですね。食育ってのは、そのへんが重要だと思うんです。ぜひ実施をしていただきたいなと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございました。またこれからの話になると思うんですけど、この4つの方式が出てると思いますけれど、どの方法が良いと思いますか。</p>
委員	<p>費用を考えると、親子方式を暫定的に実施し、当初はそういうやり方で予算がついていけば自校方式にするのか。今小学校は自校方式で、匂いがありますとか、そういったことも含めて食育が実施されていると思いますし、今の川西の給食は非常にありがたい方針だと思うんですけども、まず費用面も含めると親子方式から実施する形でステップアップをしていただけたらと思います。</p>
座長	<p>ありがとうございます。今、中学校でもこのように食育が大事という話がでました。</p>
委員	<p>小学校でせっかく食育に力を入れてもらっているんで、ぜひ中学校でもやってもらいたいと思います。お弁当はやっぱり残さずに食べて帰ってきてほしいという思いがあるので、好きなものを入れがちになるんですけど、嫌いなものも給食なら全部食べてくれるというのもあるので、ぜひ給食をしてほしい。</p>
座長	<p>食育という話がたくさん出てきました。小学校までしたことを中学校までどうやって引き継ぐか、どのように思われますか。</p>
委員	<p>中学校の給食を考えたときに、内容がやっぱり大切なのではないかと思います。現実的な問題で言うと、保護者の負担とか、持っていく子どもの荷物が軽くなるとか、衛生面だとかあるんですけど、やっぱり先ほど別の委員が言われたように、食育ができるような内容の給食でなければ給食ではなくて昼食になってしまうと思うんですね。だから、我々が求めるのが昼食なのか、お昼ご飯に何か食べるためのものをということなのか、それとも給食なのか。事務局からの法的な説明もありましたが、全員を対象として、教育的ということであれば、給食ということになるかなと思うんですね。小学校ですっと手作りで子ども達にもいろいろなことを伝えて、人のつながりであるとか、食べ物の繋がりにあるだとかいろいろなことを伝えて、給食を実施しています。しかし、おとなになった時に、給食を食べて選べるようになっていくか、作れるようになっていくかというのは、また別なんですね。給食を食べたから、そこで食育の教育を受けたから作れるようになっていくかと言われると、食べることは出来るんだけど、それが作れるようにはなっていない、という現状があるんじゃないかなと思うんですね。それは中学校で、いくら良い給食をしたところで、用意されたものをその意味を感じ取って食べることができても、それを自分で作ろうとしないと本当の食育が達成された、目的の食育が達成されたとは言えないんじゃないかなと。学校給食法が一番当初から項目の中にある栄養改善ということに関しましても、自分で選べるだけではなく選んで作れる所までいかないと、本当の目的達成にはならないのではないかなと思うんですね。それで今まで何回かお話しを聞く機会があった香川県で学校長されていた竹下先生の「お弁当の日」というのがあって、給食がある中で自分たちでお弁当を作る経験をした子どもたちは、大学生になって実家を離れたときに、当たり前のように自分の食事を作ることが出来る。給食をモデルにしてお弁当作することを学んだ子どもたちは、それを当たり前のようにして実用することが出来る子どもたちに育っているという報告を聞くんです。目指すところはそこなんじゃないかな。今食べているものはどうなのかというのもあるけれど、今食べているものを通して子どもたちにどういう力を身につけていくのかというのも考えて検討していけたらなと思っています。</p>

座長	ありがとうございます。将来に渡った役に立つような給食が実施できるような体制が望ましいんじゃないかなという意見をいただきました。まさにその通りですけれども、その辺のところはいろんなご意見いただきながらくんでいただければと思います。特に、給食と昼食の違いを私から補足させていただきますと、昼食というのはあくまでも食べる側の自主選択になっております。給食というのは、あくまでも法律によれば全員ということが基本になっておりますので、今検討しているのが、あくまでも給食ですので、生徒の皆さんすべての方がどうやって一食を食べていくかということが、基本となっていきます。選択制だとかは今後、検討するなかで出来てくるだろうかなとは思いますが、小学校と同じような完全給食が前提になってくると思います。何か追加でお話したいということはありませんか。
委員	自校で作らないとおいしくないんで子どもたちは食べないですよ。デリバリーは絶対ダメです。やるとしたら自校方式をお願いしたいですが、それがどこまで可能かですね。
委員	親子方式の場合、1小学校で1中学校の給食はつくれますか。
事務局	施設の改修や備品の購入が必要になってくると考えております。
委員	自校方式の場合は、一斉実施でなくても良いですね。希望者の多い所から実施することは可能ですか。
事務局	可能だと考えています。
委員	ただ、中学生と小学生と同じ物を食べさせるというのは、そこはどうですか
委員	メニューを変えてもできると考えています。
委員	そうなるもまた誤食というものが入ってくる、作るなら同じ物を作らないと危ないですよという話。あと、もちろん中学生であれば、自分が食べるとこれは危ないものという認識は小学生よりは持ってきてくれているから安全だと思いますけど、ただそれが逆に小学生にいった場合怖い。
座長	いろんな問題点が出てきようかと思いますが、こうやったら少しでも助かるよとか、こうやったら危険率がなくなるよ、というふうなものも、話の中で出てきたらいいかな、というふうに思います。ここまでは、やはり中学校も学校給食が必要だろうという意見が全体ででたような気がします。2回目以降、いろんな意見、あるいは欠点もでようかなと思いますので、今日は一番目の議題につきましては、このくらいで終わりたいと思います。では、続きまして児童生徒保護者のニーズ把握についてご説明お願いしたいと思います。
事務局	～説明～ (資料5・6 アンケート案)
座長	ありがとうございました。ただ今アンケートの草案についてご説明がありました。この内容につきまして、ご意見ございましたら、お願いしたいなと思います。説明がありましたように4種類あるということですが、中学生の保護者用、小学生の保護者用、小学の児童、中学の生徒、というふうなことで、今日は中学生の保護者様用のアンケートの様式が案として出ています。全部が見ればいいかなと思いますけれど、問1以外は皆同じということですので、その辺につきまして、ご意見ございましたら。これもじっくり読まなければ、前後のつながり等々につきましてもなかなか理解しにくい所もあると思いますけど、今日気づいたことで結構です。もし、今日持って帰っていただいて、問題点がある、あるいはここは足した方がいい、減らした方がいいというふうなことがあれば、また事務局まで連絡していただければいいかなと思うんですけど、このアンケートはいつごろ行いますか。
事務局	2学期に入りまして9月には実施したいと考えております。

座長	そうしますと、すぐにアンケートは出来上がるわけですね、意見の調整等々は今日中にしてしまわないとダメですか。
事務局	いただいた意見が沢山ありましたら、再度練り直して確認して頂くというようなことは考えております。
座長	では、各委員からの意見というのは期限を何日ぐらいまでとれますか。
事務局	出来ましたら、8月中にいただけたらと考えています。
委員	質問ですが、問6の 印のところですが、もう今度は給食だから、全員対象で、選択じゃないですよ。ですから、今度やることに関しては全員給食という表現で、書いていただいた方が、わかりやすいと思います。やっぱり弁当もありなのかな、という勘違いをされると困るので、そのあたりバシッと給食ですよという表現の方がありがたいです。
委員	問1の中で、家庭で弁当を用意していただいています。という表現で保護者によってはどう解釈して答えるかなって。 家から持ってくるという前提のものなんだけれども、そのあたり割と途中にパンのお店があったりすると、今は手軽にね、パンじゃなくてもおにぎりとかお弁当とかでもそんなに高くなくて購入できたりすることもあるので。
委員	お弁当の範囲をどこまでとるかですね、買ってもお弁当なのか。
委員	問1は「家庭で作ったお弁当を週何回持ってこられていますか」でいいですね。家庭で作って持ってきている、という表現で。
事務局	表現についてもう少し考えさせてください。もう少しわかりやすい表現を考えさせていただきます。ミルク給食は、ミルクだけですか。
委員	ミルクだけです。
事務局	弁当を持ってこれない子を補完するために、購買部というのが各中学校、それぞれやり方が違いますけども、PTAが補完してるんですよ。要は業者さんに入ってもらったり、業者さんからパンをPTAが仕入れて、その注文を朝方にして、お金と当番が買いにきてくれるということで、補完をしています。その運営自体もちょっと大変な所もあって、今後中学校給食を導入されるとそういったこともなくなるんで、PTAとしても非常にありがたいですよ。
座長	これ以外の、こういうふうなことを入れてほしいとか、そういうことも含めまして、先ほど言った通り今月中に事務局まで届けていただければいいかなと思います。それで案がまとまりましたら、委員の皆さんに返却してほしいなと思います。
事務局	いただきました意見について、意見を反映させたアンケートを作らせていただきたいと思います。反映できない意見がございましたら、理由もつけて送らせていただきたいと思います。
座長	よろしいでしょうか。今すぐというのはなかなか出ない問題かなと思いますので、2番については、これで終わりたいと思います。では続きまして3のその他という所につきまして進めたいですけども、事務局の方から何かございましたらお願いします。
事務局	第2回目の日程調整についてここでさせていただこうと考えておりますが、先ほどのアンケートのやり取り等ございます。また、アンケートの集計をした後でそのデータを含めて、2回目に協議していただきたいと思いますので、今日この場で決めるのは難しいかと思っておりますので、また事務局の方で調整させていただいて、出来るだけ多くの方に参加していただけるように開催日を調整させていただきたいと思います。
座長	ありがとうございます。次回の開催につきましては、事務局でもう一度調整していただくということ

委員	で、またよろしく願いいたします。それ以外で何かございましたら、お願いしたいと思います。
事務局	宝塚市と西宮市は中学校給食導入しているのは知っているが、芦屋市や伊丹市は給食導入について仕入れた情報で結構ですので、たとえば共同調理だとか、そこら辺の情報があったらちょっと教えてほしいなと思いますが。
事務局	芦屋市につきましては自校方式で実施するのは、決められていまして、ただ調理スペースの問題があって、校舎の建て替えが必要だということで、芦屋市は中学校が3校あるんですけど、一番早い校は平成27年度からの予定だと聞いています。残り2校は5年ほど遅れてというふうに聞いております。伊丹市につきましては、今年度検討会議をスタートさせるということでこれから検討ですけれど、伊丹市の小学校給食はセンター方式で運営されていますので、おそらく選択肢としては入ってくるのかもしれないです。
委員	センター方式というのは、一つ中心があってそこから各中学校に配られるということですよね。
事務局	そうですね、伊丹市は給食センターが2か所ございまして、そこから各学校に配送されています。伊丹市の場合、全中学校区を今のセンターで賄えるかという若干難しいかなという、よその事なので具体的にはわかりませんが、ちょっと難しいだろうなと。そうなりますと、新たに新しくセンターを作るのではないかという想像はあります
委員	ありがとうございました。ちなみに猪名川町はどうなっていますか。
委員	猪名川町は一か所で、建て替えの予定です。
事務局	阪神間の情報につきまして、次回の協議の時に資料を提示させていただきたいと思っております。
座長	お願いします。
事務局	アレルギーを持っている生徒さんに対しての給食は今どういうふうになっているでしょうか。アレルギー対応につきましては、平成21年度にアレルギー対応のマニュアルを作りまして、全ての小学校で統一的な対応をしております。具体的には対応としましては、今、卵除去を対応しております。
委員	では、ほかのアレルギーがある人に対しては、その時は弁当を持ってきてもらうという形になりますか。
事務局	おっしゃる通りでございます。保護者の方から近年アレルギーの子どもさんが増えてということもありまして、牛乳など乳製品でありますとか、小麦などの対応の声というのも多くいただいているところなんですけれど、ご存じのように、東京都で悲しい死亡事故ございました。川西市でも21年度にマニュアルを作りましてから、少し時間が経過しておりますので、その後の状況を確認する中で、もう少し安全面を徹底していかないといけないだろう点もございまして、まず安全の確保を第一としまして、確保できた後でまた、アレルギー対応を広げていきたいと考えております。
座長	ありがとうございます。他にありませんでしょうか。では、ないようですので、本日はこれもちまして、閉会とさせていただきます。本日委員の皆様のご活発なご意見いただきまして無事今日は終わることが出来ました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。では、これで終わりたいと思います。
委員	ありがとうございます。
	ありがとうございました。
	閉会

	<p>以上</p>
--	-----------